



今回は発情の同期化でよく知られるPRID-Delta（PRID）とCIDRにおける妊娠率の比較をした論文を紹介します。

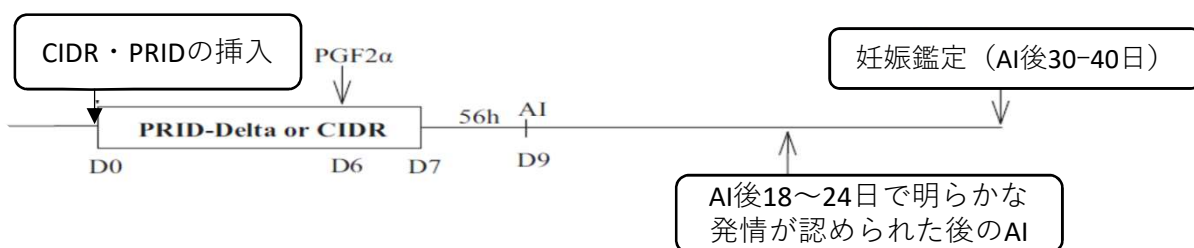
PRID vs CIDR-循環P4と妊娠率の比較

概要・背景

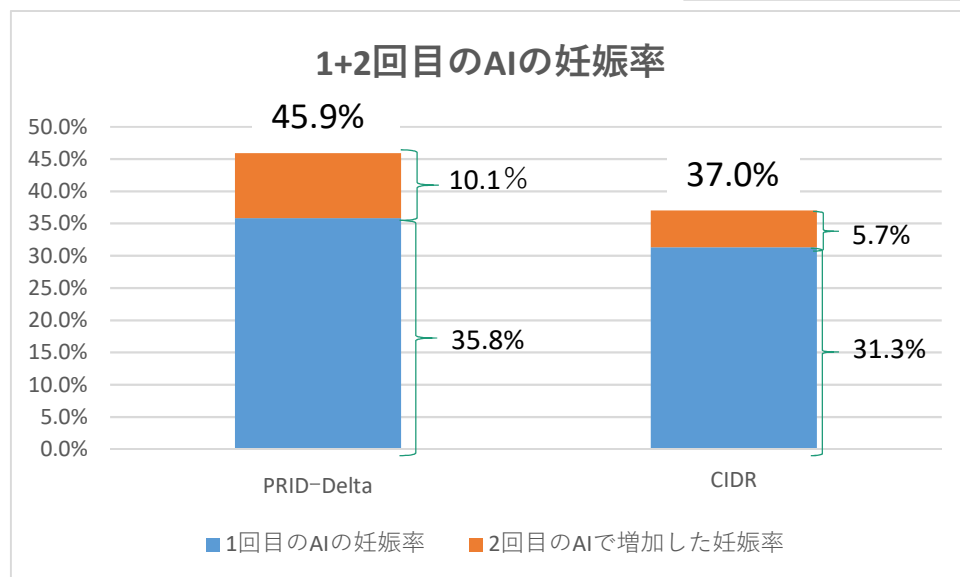
発情周期を体外からホルモンを投与することによって同期化する処置は乳牛において広く行われています。本研究では、体内の循環P4と妊娠率をPRIDとCIDRで比較しました。

材料・方法

下図のプロトコル（PRID:399頭 CIDR:375頭）でAI後30-40日に超音波検査で妊娠鑑定を行いました。



結果



実験より、PRIDの方が妊娠率が高いことが示されました。PRIDとCIDRでは、P4の含有量の違い（PRID:1.55g、CIDR:1.38g）から、PRIDのほうが高いP4濃度を維持することができました。過去の論文より、オブシンク法のプロトコル中に低いP4濃度を維持すると、発情周期が短くなるという論文があり、今回PRIDの方が妊娠率が高かったのは、AIプロトコル中の高P4濃度の維持によって、短い発情周期の発生を抑えたからなのではないかと考えられます。

出典:T. van Werven, et al. "Comparison of two intravaginal progesterone releasing devices(PRID-Delta vs CIDR) in dairy cows : Blood progesterone profile and field fertility" Animal Reproduction Science 138(2013): 143-149